

市議会だより

3月定例会

平成28('16)年 5月1日発行



桶川東小学校では、ホテルレストランのシェフを招いての味覚の授業や豆腐・豆乳作りなど「食育」に力を入れています。写真は、卒業を控えた6年生が、楽しみにしている「バイキング給食」の様子です。

主な内容

- ◎新年度当初予算審議
2ページ
- ◎条例等の議案審議
3ページ
- ◎議案の採決結果
4ページ
- ◎一般質問（16人）
5～12ページ
- ◎議会報告会
13ページ
- ◎議員提出議案等
議会からのお知らせ
編集後記ほか
14ページ

◆ 3月定例会日程 ◆

- 2月23日 開会、市長の行政報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託
- 24日 市長提出議案の質疑・討論及び表決
- 29日 総務常任委員会
- 3月 2日 建設文教常任委員会
- 3日 一般会計歳入予算質疑（全体審議）
- 4日～10日 常任委員会（一般会計歳出の所管事務調査）
- 11日 一般質問（渡邊・保坂・糸井・岩崎・新井）
- 14日 一般質問（新島・岡野・岡安・相馬・市川）
- 16日 一般質問（江森・佐藤正・星野・加藤・島村）
- 17日 一般質問（北村）
- 18日 特別会計（国保・下水・介護・後期高齢）歳入歳出予算質疑（全体審議）
- 23日 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、委員会所管事務調査の委員長報告、当初予算一般会計の総括質疑
- 25日 市長提出議案（当初予算）の討論及び表決、市長追加提出議案の上程・説明・質疑・討論及び表決、議員提出議案の上程・質疑・討論及び表決、閉会

平成28年度当初予算審議

期日前投票所設置事業などの 予算が決まりました

平成28年3月定例会は、2月23日から3月25日まで32日間開催し、市長提出議案34件、諮問2件、委員会提出議案2件、議員提出議案1件が提案され、審議されました。
各議案等の採決結果については、4ページをご覧ください。

当初予算

当初予算について各常任委員会でも所管事務調査を行いました。その際、主な質疑についてお知らせします。

〔答〕 継続的な利用が可能なのか。
おっしゃるとおり、工事費は初年度のみです。

〔問〕 旧飛行学校 整備事業
平成27年度の委託結果と、それを踏まえた今後の事業展開は。

〔答〕 設計業務履行期間中で結果はまだです。28年度は、整備検討委員会や保存活用計画の策定等を予定しており、最終的な整備計画を決定します。また、ものつくり大学には、既存建物4棟を含め、どう整備すれば集客が望めるか等も含め検討していただいています。

〔問〕 《病児病後児保育事業》
事業の概要は。病児又は回復期にある児童を、病児病後児専用保育室を有する施設（カオルキッズランドケアルーム）で一時的に保育する事業（保育室2室、安静室1室）です。定員は一日4人、利用者負担は2千500円（生保護世帯無料）です。

〔問〕 《民間保育所・放課後児童クラブ開設事業》
民間保育所の委託先と定員は。
桶川たんぽぽ保育園110人、カオルキッズランド保育園40人、桶幼どれみ保育園48人、アートチャイルドケア桶川90人、さくら保育園110人です。

〔問〕 民営放課後児童クラブの委託先、定員、利用料は。
桶幼放課後児童クラブ30人、ひがし放課後児童クラブ35人、保育料は月額1万2千500円です。

〔問〕 断書料は。
自己負担は500円です。

〔問〕 桶川マイン内への期日前投票所の設置に伴い、期日前投票システムを使用することとなるため、4階の駅西口連絡所から3階の期日前投票所までを結ぶためのLAN回線工事です。一度回線を引けば、継続的な利用が可能なのか。
おっしゃるとおり、工事費は初年度のみです。

平成28年度予算

会計名	予算額
一般会計	247億9,200万円
特別会計	
国保	91億3,200万円
下水道	19億6,700万円
介護	46億2,500万円
後期高齢	9億2,200万円

《駅東口開発 推進事業》

〔問〕 南小の跡地は。南小跡地を含めた全体の土地利用のためには、地区内の下水道や道路整備などの課題を整理し事業化を目指します。

〔問〕 東口エレベーターの計画は。駅全体の機能向上も視野に、設置位置や既存建物の改修方法について協議を進めながら設計図を作成します。

〔問〕 《加納公民館
エレベーター設置事業》
設置位置と工事期間は。
入口を入ったホールを中心とした小会議室の脇等が候補です。工事期間は2カ月半程度ですが、代替施設として予定している勤労福祉会館の工事期間と重複しないよう、工事日程については調整中です。

《賛成討論

元気で活力あるまちづくり、笑顔で子育てできるまちづくりの推進という政治姿勢のあらわれで、小野市長の1期4年を締めくくるにふさわしい予算であると高く評価する。市税と一般財源が伸び悩む中、財政の健全性を保ちつつ、将来を見据え、さまざまな施策を展開する積極的な予算であり、賛同するものである。

当初予算に対する討論

◆反対討論

大型プロジェクトがめじろ押しで、市民生活にしろ寄せを及ぼすおそれもありと考える。事業規模の適正化や優先順位について、スピードよりも市民の合意形成に努めながら進めるべきではないか。住民の福祉増進という地方自治の本旨に立ち返り、日々の市民生活を守る施策の拡充と将来に過大な負債を残さぬよう、慎重な市政運営を求める。

議案審議の条例等

条例等

各常任委員会に付託された条例等の審査および調査の際の質疑について主なものをお知らせします。

桶川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

住民生活に必要なバス等輸送サービスについて協議する「桶川市地域公共交通会議」を設置することに伴い、委員の報酬等の額を新たに定めました。

問 委員の人数と会議回数は。

答 埼玉県バス協会、タクシー協会、国交省運輸支局、道路管理者、埼玉県警、住民又は利用者の代表などからの選出により20名程度の委員で構成します。会議は、10月と2月頃の年2回を予定しています。

問 市民アンケート、パブリックコメント等が想定されるが。

市民アンケート、パブリックコメント等が想定されるが。

答 アンケートを行うか検討中です。

2月頃の会議で見直し案を決め、3月にパブリックコメントを実施し、修正を加えてから29年度中には新たなルートによる運行開始の予定です。

問 デマンドバスの導入の考えは。

答 検討したいと考えています。

行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例

問 概要をわかりやすく説明願いたい。

答 行政処分に対し、審査請求があった場合、その処分が適正であったかどうかを審理員が審理し、第三者機関である桶川市行政不服審査会に諮問します。市長はその答申を受けて最終判断をします。

なお、情報公開請求や個人情報開示請求についての行政処分不服申立て手続きは従来どおりです。

問 他市町村では、審理員に弁護士を配置すると聞くが。

答 本市では、行政処分に関与しない課長級職員とすることを考えています。

桶川市坂田地区公共施設等整備事業者選定委員会設置条例

問 選定委員の予定人数は。

答 学識経験者と市議会議員で5名程度と、市民から5名程度とを考えています。

問 市民委員は地元の優先枠があるのか。

答 基本的には地元の皆さんからと考えています。

問 報告までのスケジュールは。

答 四回程度委員会を開き12月までに事業者の選定を終了し、年明けには契約をして、その後建設という流れになります。

12月までに本当に事業者の選定ができるのか。

問 初めての取り組みで、色々な課題も出てくると考えていますが、官民共同施設として市に寄与できるように、また、地元の皆さんに喜んでいただけるような施設となるよう努力するとともに、慎重に進めていきます。

答 初めての取り組みで、色々な課題も出てくると考えていますが、官民共同施設として市に寄与できるように、また、地元の皆さんに喜んでいただけるような施設となるよう努力するとともに、慎重に進めていきます。

補正予算

《桶川小校庭整備事業》

問 桶小の整備について具体的に。

答 整備対象面積は約850㎡で、グラウンド表面を平らにし、水が溜らないように周囲3方向に排水施設を設置する計画で、あわせてコースロープの張りかえも行う予定です。

なお、測量設計は3月から5月、整備工事は7月から9月を予定しています。

ます。

《駅西口バス停留所整備事業》

問 羽田空港直行のバス停設置により、市内循環バス、企業バスやスクールバスの停留所への配慮はされたか。

答 バス事業者からは高速バス優先にという要望もあり、今後企業等と意見交換をしながらいい方向に行くよう努力していきます。

問 マイン前に停留所の設置では、歩道が狭くならないか。

答 約3.5m歩道部分を切り込み、設置する予定で、残りの歩道部分は4.5mほど残るため幅員は十分と考えています。

人事関係

農業委員会委員を

同意

大野 仁氏

加藤 俊子氏

倉持 成彦氏

小峯 完治氏

白根 行枝氏

砂川 富夫氏

高山 光司氏

甘樂 實氏

野口 高明氏

和久津一美氏

和久津慶治氏

人権擁護委員を承認

高柳千恵子氏

新井 洋子氏

副市長を同意

松本 幸司氏



3月定例会で審議された議案とその結果

○は賛成 ×は反対 キは棄権 ※議長は採決に加わらない

議案 番号	議 案 名	議決 結果	新緑会					新風クラブ21					公明党			日本 共産党	無会派				
			市川 幸三	岡 野千枝子	岡 安政彦	糸 井政樹	相 馬正人	臼 田喜之	加 藤ただし	佐 藤洋	江 森誠一	新 島光明	島 村美貴子	新 井孝雄	仲 又清美	保 坂輝雄	岩 崎隆志	佐 藤正広	星 野充生	北 村文子	渡 邊光子
第1号	平成27年度桶川市一般会計補正予算（第4回）	可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
第2号	平成27年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号	平成27年度桶川市公共下水道事業特別会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	平成27年度桶川市介護保険特別会計補正予算（第4回）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	平成27年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3回）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号	平成28年度桶川市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	キ	○	○	○	○	○	×	×	×	○
第7号	平成28年度桶川市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号	平成28年度桶川市公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	平成28年度桶川市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10号	平成28年度桶川市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号	桶川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号	桶川市特別職報酬等審議会条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号	桶川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第15号	行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号	地方公務員法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第17号	桶川市手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○		長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号	桶川市坂田地区公共施設等整備事業者選定委員会設置条例	可決	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号	桶川市行政不服審査法関係手数料条例	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第20号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第21号	平成27年度桶川市一般会計補正予算（第5回）	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号	農業委員会委員の選任について（大野仁氏）	同意	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第23号	農業委員会委員の選任について（加藤俊子氏）	同意	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第24号	農業委員会委員の選任について（倉持成彦氏）	同意	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第25号	農業委員会委員の選任について（小峯完治氏）	同意	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第26号	農業委員会委員の選任について（白根行枝氏）	同意	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第27号	農業委員会委員の選任について（砂川富夫氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第28号	農業委員会委員の選任について（高山光司氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第29号	農業委員会委員の選任について（廿樂實氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第30号	農業委員会委員の選任について（野口高明氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
第31号	農業委員会委員の選任について（和久津一美氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第32号	農業委員会委員の選任について（和久津慶治氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
第33号	副市長の選任について（松本幸司氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第34号	平成27年度桶川市一般会計補正予算（第6回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（高柳千恵子氏）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（新井洋子氏）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
委第1号	桶川市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
委第2号	無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
議第1号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書	※否決	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	

※議第1号議案は可否同数であったため、地方自治法第116条の規定による議長採決により否決となりました。

保健センターについて

渡邊 光子

複合式

問

商工会、ロータリー、ライオンズ等の主催で1月に行われるアルコールを含む飲食を伴う賀詞交歓会が、昨年まで毎年、保健センター3階の会議室で行われていた。保健センターの担当課長に面談で聞いた

問

わたなべ光子の議員活動のひとつである「No.48議会報告」

が「アルコール等を含み飲食する場所としては市民には貸し出しはしない。商工会、ライオンズ、ロータリーには特別の貸し出しだ」という。このようなルール違反を長い間違反と知りながら貸し出した担当者にはペナルティーが必要ではないか。

答

隣接の商工会館の大会議室が手狭であるため、開館当時の平成5年から貸し出しをしています。具体的な基準も禁止事項もなく、設置管理条例の必要な事項は市長が定めています。

今年から、貸出基準を

た年齢以外の方が予防接種をする際は、接種当日に医療機関で補助額3千円を差し引いて支払い、後日、桶川市に申請」と記載されたことです。議員が間違ったことを書くはずがないということ、こちらの説明に対し理解が得られない状況でした。

問

「伊奈の病院で肺炎球菌の接種をして7千350円支払った2日後に、配布されたNo.48議会報告を見た。桶川市の補助はあるのか」と問われた。病院へ電話をして桶川市補助分3千円を返していただいた。桶川市の補助が受けられる地区医師会と病院へ、桶川市の補助について再度連絡できないか。

答

鴻巣市、北本市、伊奈町、桶川市の実施医療機関への連絡は、毎年3月末に次年度の関係書類を送りますが、その際に再度、桶川市の補助方法についてお知らせします。

桶川版ネウボラの構築について

保坂 輝雄

複合式

問

ネウボラとは、フィンランド語で「アドバイスの場」を意味し、わが国では、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援を行うワ

ンストップ拠点である子育て世代包括支援センターを日本版ネウボラとして位置付けている。埼玉県和光市では、5ヶ所の子育て世代包括支援センターへ母子保健または子育て支援のケアマネジャーを配置することにより、妊娠期から就学までの個別ケアマネジメントを実施して、様々な相談に対応している。

答

桶川版ネウボラの構築に向けて、和光市等の先進事例を参考に子育て世代包括支援センターの設置を前向きに検討していきます。

問

桶川版ネウボラ構築は急務だと考えるが、市長の見解は。

高齢者世帯に対する簡易消火具の無料配布について

問

東京都東大和市では、高齢者世帯にスプレー式簡易消火具を無料配布する事業を実施したとのことである。

本市でも、近年、火災発生により数名の尊い命が犠牲となっており、高齢者世帯への簡易消火具

答

保健センターを中心として、子育て世代包括支援センター設置に向けて検討を進め

配布は必要だと考える。そこで、簡易消火具1本当たりの費用と実施した場合の総事業費はいくらになるか、伺う。

答

東大和市の簡易消火具は1本1,200円で、要介護2以上の方に配布しています。仮に、本市でも要介護2以上の1300人に配布した場合、総事業費は約156万円になります。

問

消火器のない世帯のみへの配布なら、数十万円程度の負担でおさまるものと思う。その程度の負担で済むのであれば、高齢者世帯への簡易消火具の無料配布を進めるべきであると考え、改めて本市の見解を伺う。

答

今後、東大和市の事業の状況等を見ながら、検討していきたいと考えます。



東大和市簡易消火具

議会改革の一環として、一般質問の質問方法を従来の「一括式」と「複合式(2回目の質問から一問一答)」を選択できるようにしました。

圏央道を利用した空港行 高速バスの運行について

糸井 政樹

複合式

問 私は以前より桶川駅から圏央道を利用した空港行高速バスの運行をお願いしてきたが、圏央道が県内開通してから半年がとうとして

答 28年度中には常磐道まで開通完成が見込まれる現在、進捗状況を伺う。

問 本年2月に民間バス事業者と、近年需要が伸びている羽田空港への高速バス運行開始に向けた協議が整い、運行開始に向けた諸手続きを開始したい旨の経過と概要の説明をいただきたいところ。

答 ターミナルの場所と運行会社について伺う。

問 桶川マインと駅の自由通路の接続部分、やや北側に計画しています。運行会社は東武バスウエスト株式会社と共同運行事業者です。

問 運行ルートについて伺う。

答 上尾駅西口から桶川駅西口を経由して、圏央道桶川加納インターから久喜・白岡ジャンクションを通り、東北道を経由し、江北ジャンクション、箱崎を経由し羽田空港に入ります。

問 運行開始時期は決定しているのか。

答 夏休みの時期は利用者も多いというところで、7月頃からと聞いています。

問 具体的な発着時間、警察との協議や申請の状況、また、将来の成田空港線への進捗について伺う。

答 発着時間については、現在調整中ですが、バス会社からはまずは数便から始めたいと聞いています。上尾警察との協議は、路面標示の方法など、所定の申請

等についてはスピーディーに行いたいと考えています。成田空港便の運行も圏央道の全線開通を視野に入れて進めていきたいと考えています

当市のごみ処理について

問 平成27年4月に設立された埼玉中部資源循環組合において、広域による新ごみ処理施設の整備が行われている。平成31年3月末で使用期限を迎える小針領家の環境センター内のごみ焼却炉とのタイムラグが2年程発生するが、その間の当市のごみ処理はどのように行うのか伺う。

答 環境センターの焼却炉は平成14年15年にダイオキシン改修工事を行った際に、長期間休止した事例があります。その際は近隣の他団体に委託し、焼却をしていただきました。当時と同様な取組みを実施する必要があると考えます。

生活排水処理について

岩崎 隆志

一括式

問 埼玉県では、川に豊かな環境を再生し、県民誰もが川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる「川の国埼玉」の実現を目指し、平成37年度までに生活排水処理人口普及率100%を達成することを目標とした埼玉県生活排水処理施設整備構想の見直しを行った。そこで生活排水を適正に処理するため桶川市においても下水処理地域以外

答 は合併浄化槽への転換をはかっているが、さらなる転換への推進について伺う。

問 合併処理浄化槽への転換の推進につぎましては、平成28年度から1基当たりの合併処理浄化槽への転換に係る補助金を増額したいと考えています。

答 浄化槽の適正な維持管理として保守点検、清掃、定期点検

さらにオケちゃんとかコバトンのイラストを挿入するなど、工夫していきたいです。

一級江川の氾濫をなくす

問 宮下樋管の改修について伺う。

答 荒川水系河川整備計画に位置づけられるよう、引き続き早期整備について国に対し強く要望していきます。

問 排水機場について伺う。

答 有効な治水対策の一つと考えられます。昨年8月に国等へ要望を行いました。引き続き国等関係機関に対し要望していきます。



学校施設の多機能化について

新井 孝雄

一括式

問 学校施設の大規模改修計画の進捗

と世代間交流や地域活動の連携のための多機能施設の設置はどうか。また、モデル校として先駆的な実施はどうか。

答 現在策定している学校施設老朽化

対策基本計画は、7月頃を目処にまとめる予定です。公立小中学校施設の複合化は、全国の学校の約35%となっている状況で、併設しているものには、図書館、公民館、保育所、高齢者福祉施設などがあります。子供たちがマナーを学べる、世代間交流の促進や経費節約の利点も挙げられます。

多機能施設導入については、良い面を前向きに捉え、老朽化対策計画の方針の中で、良い面や配慮すべき点などの課題等踏まえ、総合的な検討を行っていきたいと考えて

います。

コンビニや集会所へのAEDの設置について

問

コンビニ等へのAEDの設置について、健康寿命増進や安心した地域生活支援という観点からも、市民の生命を守る施策として、早期に行っていたいただきたいと思うが、いかがか。

答

また、県内の状況は。昨年8月以降に県内のいくつかの市でコンビニ等への設置が増えてきており、市としても市民が使いやすくなると考えているところがあります。AEDにより救命率が違うことは認識しているところですが、まずは24時間利用できるコンビニへの設置を検討していきたいと考えています。集会所への設置については、地域の方々の理解と

協力が必要ですので、情報収集等を行い、研究していきたいと考えています。

道の駅に関わる農産物生産と出荷に関するアンケートについて

問

道の駅整備に伴う農家へのアンケートに、農作物の生産項目以外に不耕作農地の処分に関する設問があったが、この分析結果と農振地域整備計画との関係はどう考えているか。

答

この整備計画は、県が指定した農振地域内の農用地利用の計画を県と協議して定めるものです。アンケートは、耕作していない理由と今後の所有農地に対する考え方を確認するもので、そうした意向が整備計画に反映されるものではありませんが、農家の皆さんの現状の意向として、参考になるものと考えているところです。

子どもの貧困対策について

新島 光明

複合式

問

子どもの6人に1人が貧困状態と言われている今日、桶川市の①要・準要保護児童生徒数②準要保護基準③準要保護制度の周知方法④就学援助の内容⑤県内の無利子・給付型奨学金の現状と市の考え方について伺う。

答

①444名(5千773名中、7.7%)②生活保護基準は「1.0」※桶川と同様は2市のみ。他は1.2〜1.7等。主流は1.3)ただし柔軟に対応します。③広報・ホームページ・新入学時に配布④給食・学用品・通学・新入学用品、遠足・修学旅行・体育実技費等⑤高校入学準備金貸付、他の奨学金制度の実施状況は、高校奨学金26市、大学奨学金25市、その中で給付型が高校6市、大学5市実施。市としても提案の内容を含め調査研究して

問

いきます。

桶川の就学援助率は県内下から5番(就学援助率15%を超える市は9市)①準要保護基準1.0を見直す考えは

②他市と同様に準要保護制度のお知らせを毎年配布できないか③桶川でのお知らせは「生活保護に準ずる方」と標記。他市同様に「生活にお困りの方」に見直す考えは。

答

①1.7を超えた方も認定していますので、きめの細やかな対応ができています。②と③は、今後検討します。

旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場跡地整備事業について

問

市では市民生活に直結する大規模事業(新庁舎・駅東口・新ごみ処理・総合運動場・児童館・老人福祉センター・小中学校11校の

大規模改修工事等)が控え財政的に危惧される状況にある中で、旧飛行学校跡地整備事業にはこれまで2300万円超の予算がつぎ込まれ、来年度も約1億円予定されている。整備基本計画では、建物の解体復元だけで約3億5000万円(議会終了後の説明会で8億6500万円との説明あり)必要と言われている。全体計画や方針が不明確な中で、一度立ちどまる必要があると思うがいかがか。また、事業の方向性・事業概算・管理運営体制・経済効果について伺う。

答

方針等は来年度の整備検討委員会の設置及び保存活用計画策定の中で決定していきます。効果等は「貴重な全国唯一の遺構の整備を進めることで地域ブランディングに寄与する」と考えています。「一度立ち止まること」については、逆に遅いぐらいと考えています。

全国及び埼玉県学力調査の結果 と取り組みについて

岡野 千枝子

複合式

問 結果からわかる
本市の課題と対策
について。

答 桶川市全体とし
ては大変良好な結
果ですが、小学校の算数、
特に知識に関する問題に
若干の課題があります。
対策としては、授業参観
や研究協議会を通し、1
時間1時間の授業を改善
し、学力向上の取り組み
を支援しています。

問 国語の記述式で
正答率が低く、無
回答が多い学校の授業改
善と取り組みは。

答 子供たちが考え
る時間を十分に確
保した授業を行い、学習
形態の工夫による学びあ
う学習を充実し、思考力
の向上に努めています。
また、子供たちが書く
ことに苦手意識を持たな
いよう、決められた文字
数でまとめる活動を取り
入れています。

保育について

問 病児保育を行う
予定になっている
が、緊急時に児童を受け
入れる医療機関との連携
は。また、2次救急病院
との連携は。

答 現在、病後児保
育では、児童のか
かりつけ医療機関または
協力医療機関の渡辺医院
と連携を図り救急措置を
行っています。今後は渡
辺医院に加え、桶川北本
伊奈地区医師会と児童の
容態の見守りや急変に素
早く対応できるよう、保
育環境を構築するための
協定を結び、地元の医療
機関との連携を図ります。

問 市内待機児童の
状況は。また、待
機児童の多い年齢と理由
1次入所選考が
終了した状況の途

答 希望する保育園
に入所できないの
はどうしてか。
希望する保育園
に全員入れるのが
良いのですが、受け入れ
る施設が足りないことで
す。保育所の入所は選考
により決定しますが、第
1希望が多いときは、第
2希望、第3希望と順次
入所を決定します。

問 西口に児童館を
との要望が長い間
あるが、今後の予定は。
答 児童館は子供の
活動拠点・安全な
居場所を提供する場とな
ります。現在の分庁舎は
コミュニティ拠点として、
子育て支援機能等、複合
的な施設と位置付けてい
ますので引き続き検討し
ます。

桶川駅東口の迎えに来る車の 渋滞について

岡安 政彦

複合式

問 桶川駅東口の迎
えに来る車の渋滞
の市の対応について伺
いたい。

答 渋滞の解決策と
いたしまして、東
口の循環バスのロータリ
ーに、送迎車を利用でき
るスペースがあります。
また、ことぶき広場の通
路部分におきまして、
送迎用の車が停止可能な
スペースを設けており、
こちらを利用していただ
けるよう、広報でもお知
らせをしてきました。さ
らに、平成25年4月には、
ことぶき広場の利用を促
すため、運転者にわかり
やすいよう、案内看板を
東口周辺に4ヶ所設置す
るなど、協力をお願いし
ているところです。

問 駅前開発で買
収した更地となつ
た場所を利用して、駅東
口の渋滞回避策としてう
まく使えないかどうか伺

答 駅前口駅前広場
の整備事業の用地に
つきましては、比較的ま
とまった形で取得するこ
とができましたので、管
理や業務に支障のない範
囲で、買収地の暫定的な
利用を検討していきたい
と考えています。

問 昨年は、九都県
市の防災訓練があ
ったが、今年の市として
の防災訓練は、どのよう
に行うのか伺いたい。

答 現在の市の防災
訓練計画につきま
しては、大きく分けて3
つあります。1つ目は、
地域の活動拠点である小
学校を会場とし、市民、
自主防災組織等の参加に
より避難誘導、救急救助、
消火、情報伝達などを行

問 今度は、避難誘
導は入っていない
ようだが、災害があつた
とき、要介護者、また、
障害者の方たちが避難す
るには、やはり訓練が必
要であると思うが、その
ような訓練は、今までや
ってきたのか伺いたい。

答 地区の皆さんに
障害者の役割をし
ていただき、障害者役の
方を移送する訓練を実施
しました。いろいろな工
夫を加えて、今後の訓練
に役立てていきたいと思
います。

公共施設予約システムについて

相馬 正人

一括式

問 現在の利用状況と、ネット予約を導入したことによる、窓口予約との問題は発生しているか。

答 平成26年12月から平成27年3月までの4カ月間の集計で、総利用件数は79件、平成27年4月から平成28年1月までの10カ月間の集計で、総利用件数は602件です。

ネット予約を導入したことによる問題点として、一部の施設において、複数の仮予約を簡単に一括で手続ができますため、必要以上に施設予約を行い、利用日間際になってキャンセルをするといった事例がありました。

坂田保留地について

問 9月議会において補正予算が承認

され、3月末までに土地の取得が行われるとのことだが、どのようなったか。

答 11月に不動産鑑定

定の評価を行い、12月から翌1月にかけて鑑定評価に基づく土地価格について、保留地を所有します坂田西特定土地区画整理組合と協議を行い、この3月に保留地の売買契約を締結いたしました。今回の契約により、坂田東西保留地の全面積を市が所有することとなりました。今後は、市民の皆さんに喜んでいただけるような施設整備に取り組んでいきます。

問 保留地前の歩道や花壇が、出入りする車両の砂ぼこりによって、汚くなっているが、対処は可能か。

答 現在、この集合保留地は、ほとんどを坂田西特定土地区画

整理組合に貸しており、組合が事業に伴う資材置き場として利用しています。区画整理組合としても、これまで雨天時の車両の出入りを抑えたり、通路に鉄板を敷くなどの対策を講じていましたが、ここを出入りする工事車両の砂ぼこりにより、歩道や花壇が汚れてしまうことが生じています。今後は、常時状況を確認し、歩道や花壇が汚れている場合、速やかに道路清掃を行うなどの対処を区画整理と調整し、実施していきます。

問 すでに進出希望の業種から問い合わせが来ていると思うが、現時点でどのような業種から何社ぐらい問い合わせがあったのか。

答 今まで10社程度からお問い合わせをいただいています。業種のほうは、スーパー系、ホームセンター系、ゼネコンなども含む建設業者などからという状況です。

財源確保と道の駅

市川 幸三

一括式

問 人口減少社会における財源確保は、地方自治体にとり人口減少社会における財源確保等は、大きな課題であると認識しています。本市では、土地地区画整理事業を推進して人口流入を図ってきた。今後は、これに加え、企業誘致による雇用の促進を図るとともに、固定資産税等の財源を確保していくことが重要であると考えています。

答 市は重点道の駅に選定されたことをどのように受けとめているか。

答 重点道の駅制度は地域活性化の拠点となる先駆的な取り組みに対する支援体制で、国土交通省は、この道の駅を経済の好循環を地方に行き渡らせる成長戦略のツールと位置づけ、特

に優れた取り組みに対して選定を行っています。そして、アドバイザー会議による専門家からの支援もいただき、市としても大変有意義な事業だと認識しています。その期待に応えられる施設となるよう計画を推進するとともに、道の駅を核として雇用創出、経済の活性化、住民サービスの向上等、地方創生に資する事業となるよう取り組んで行きたいと考えています。

問 川田谷原区、市道1034号線の側溝整備について

答 ここは生活排水が常時側溝に滞留している状況だ。早期の側溝整備を。

答 市道1034号線は、過去にU字側溝で整備されていますが、現況道路の縦断勾配

が緩いため、一部排水が滞留している状況は市も認識しています。この側溝整備につきましては、平成28年度に現地の測量を行い、排水計画を立て、年度内に工事に着手できるように進めていきたいと考えています。

問 こども110番の家について

答 こども110番の家の利用状況は、これにつきましては、現在、各小

学校のPTAが対応しており、管理もPTAが行っている状況です。昨年の利用状況は、小学校全体で13件です。利用内容はトイレ借用7件、雷に伴う避難3件、金品の拾

得が3件です。防犯ボランティアの協力等があり、子供たちが駆け込むような状況にならなかったものの報告もあります。今後とも学校との連携、子供たちへの周知を進めていきたいと考えています。

小野市長の桶川を元気にする 44の宣言について

江森 誠一

複合式

問 市長の公約にある44の宣言について、市長自身公約における達成度について伺う。

答 平成25年4月に就任以来、進行状況につきましては、福祉3医療の窓口払い廃止、小中学校のエアコン設置、駅東口整備における用地買収、新庁舎建設等着実に事業を進めさせていたできてきました。

問 平成28年度予算における重点施策について、市長の考えを伺う。

答 大型プロジェクトの更なる推進で新庁舎建設事業、駅東口整備、道の駅整備事業、旧飛行学校整備事業などの推進を図るため、必要な経費を計上しました。

問 市長就任以来大型予算が続いているが、本市規模において基本的な財政運営及び予

算計上のあり方について考えを伺う。

答 財政市政の運営にあたっては、最小の経費で最大の効果を上げるのが当然求められると認識しています。今後も真に必要とされる事業を、着実に推進していきます。

問 本市の最も重要視される大型事業としては、新庁舎建設、駅東口開発、ごみ処理施設整備、この3事業が待ったなしの事業と市長の考えを伺う。

答 この事業においては長年にわたる懸案事項であり、長期にわたり協議検討されてきた大変重要な事業と認識しています。また、3つの事業以外にも取り組んでいかなければならない将来に向けた街づくりも進めていきたいと考えています。

財政の健全運営について

問 財政コスト削減に向けた取組みにおいて指定管理者制度があるが、将来的なこの制度のあり方について考えを伺う。

答 この制度は、財政コスト削減や住民サービスの向上が期待でき、今後も施設の状況を勘案し、導入に向けた検討をしていきます。

問 指定管理者制度のほか、例えばPFIやPPPといった制度があり費用対効果についても判断しやすいと思うが、考えを伺う。

答 PFIやPPP方式も選択肢の一つと考えています。今後の施設整備の際についても、設置目的や活用方法など、民間活力の導入といった考え方も視野に、市民サービスの向上を図れるよう検討を進めていきます。

「スピード」より市民合意を重視する市政に

佐藤 正広

複合式

問 市内循環バスについて、既存ルートへの影響が少なく、交通空白解消などが図られる場所とは。

答 具体的には、坂田、細谷、堀之内地区、小針領家東部地区、川田谷薬師堂地区です。交通会議の中に公募の市民を入れることも含まれているか。

問 他市の状況も踏まえ公募による委員も入れるべきであるのご指摘をいただいたことから、現在公募による市民を構成員に入れる方向で検討を始めたところですが、

答 (西側大通り線の交通対策) 日出谷地域の議員が協議し、地域の議員が主体になって区長さんとも利用者とも協議をしながら上尾署に、要請をしていこうという動きが、今始まって

いる。行政の支援をお願いする。

答 要望等をいただく地域の住民の皆様とともに上尾署のほうに要望していきたいと思っています。要望書とともに地区代表、議員の皆様という形でよろしく願います。

問 (加納原地区の再開発との関連質問) 加納中学校は、グラウンドが大雨時には浸水すると聞くが、この十年で何回ぐらいの浸水例があるのか。

答 年間5回ぐらい確認しているとのこと聞いていますので、十年間では約五十回程度になります。加納中学校は、雨水流出抑制浸透施設設置校となっており、敷地内に降った雨を一時的に校庭に貯留、または地下に浸透させることにより河川への負担を軽減させる

機能を有していますので、一時的に水がたまるとご理解ください。

問 桶川小学校については四千万円の費用をかけて改修する。一方、年間5回も浸水する加納中学校が冠水してもやむを得ないとの答弁は納得できない。

答 地域の水を要はして河川への負担を軽減する、ひいてはその地域の治水対策に資するというところで、雨水浸透施設としての整備を行った経緯があります。

問 開発用地の盛土に要する費用など整備の本体工事の費用は、どれ位の見込みになるのか。

答 今後土地地区画整理の事業認可がおりた際には組合を設立し、そこが造成を行うこととなります。市のほうの負担という側面では、市が造成にかかわる負担をすることはないと考えています。

歩行者が安心できる都市づくりを

星野 充生

複合式

問

1月18日の積雪の際、歩行者安全対策として何か行ったか。

答

桶川駅周辺や市役所周辺の歩道部及びJR高崎線と立体交差する道路の歩道部の除雪を実施しました。

問

稲荷通りの電柱を無くし、電線を地中化にできないか。

答

既にライフラインが複数埋設されている道路、幅広い歩道やスペースがない道路では、現状においては困難であるものと考えています。

問

市道1号線の歩道の拡幅を。

答

交通需要を見ながら必要に応じて歩道整備などの検討をしていきたいと考えています。

問

ベにはな陸橋にエレベーターを。

答

新庁舎もできる

問

よく早い段階で、エレベーター設置が実現できるように取り組んでいきます。駅前広場の予定地に簡易的なものでもトイレを設置することはできないか。

答

特定目的の取得用地です。建築等の許可が難しいことなどから、設置は難しいものと現段階では考えています。

問

28年度の予算書にある「駅東口エレベーター設置等基本設計負担金」について。

答

JRが発注する設計図作成に関わる業務に対し、その費用の一部を市が負担しようとするものです。

問

発注はいつ。そして期限は設けているのか。

答

今後JRと協議を進める中で決定していきます。

問

市民はいつまで待たされるのか。現時点ではスケジュールを示すことはできませんが、なる

答

とはできませんが、なる

駅東口の整備について

加藤 ただし

複合式

問

①東口のEV設置計画は、子育て世帯や高齢者の利用のため早期の設置を希望する。

答

また、将来の利用も考え東口・西口の将来構想は全庁的に取組んでほしい。②ことぶき広場周辺整備に関する地域の合意について。

問

③早期にことぶき広場のビジョンや構想づくりの説明をお願いしたい。

答

④移転先(代替地)の権利者に税控除があり譲渡しやすい例について。

問

①EV設置は協議を重ね、この機会に進めるべき整備についても検討します。

答

②比較的小さな単位で機会を設け意見を伺います。

問

③利活用方策が具体的にお示しできる様努めます。

答

④事業に伴う用地を目的に土地を買い取る場合などは税控除の優遇措置が受けられます。

問

④移転先(代替地)を求めている方の意向調整に基づき、先行取得する方法は。

答

④市や県の土地開発公社の活用は、事業の円滑な推進に有用な方法の一つと考えており、その保有地の活用なども視野に入れ、円滑な用地取得に努めます。

産業誘致ゾーンについて

ついて

問

①桶川加納インター周辺の加納地区の進捗状況と今後は。

答

②桶川北本インター周辺の産業誘致ゾーン確保の方法については。

問

①平成20年ごろから説明会等を行い、28年度内に市街化調整区域から市街化区域の編入をし、工業地域に都市計画決定、区画整理事業認可取得の予定です。

答

②区画整理事業や地区計画の方法があります。地区計画は農地転用が条件のため、農林調整の困難が想定されることです。

問

①民間土地区画整理事業の民間事業者の約割は。

答

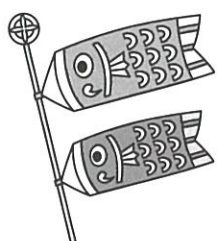
②土地改良区の整備から8年間は農地転用等がでないが、平成29年度は8年目だが、企業誘致が進まない理由は。

問

①企業誘致、許可の取得手続、用地取得の斡旋、土地造成が役割です。

答

②市街化区域に編入するには、工業系の土地利用で20ヘクタールの面積が必要であり、区域内は住宅が多いこと等、住民合意が難しいこと、農振農用地区域に該当し農林調整の困難が予想されることとです。



防災行政無線を活用した市民への注意喚起について

島村 美貴子

一括式

問 防災行政無線を使用した注意喚起の考え方について伺う。

答 2月12日に上尾警察署からの申し出により、上尾警察署及び桶川市、区長会の3者による「桶川市犯罪情報の住民提供等に関する協定」を締結しました。この協定は、重要犯罪情報、不審者などの犯罪情報や迷い人に関する防犯情報について、防災行政無線や防災情報メールを活用し、情報提供すると共に各自自治会を通じて、注意喚起を図ることを目的としたものです。今後は、上尾警察署からの要請に応じ、市民に情報提供し、注意喚起していきます。

問 再三に渡り、防災行政無線を利用した注意喚起を、と要望してきた。しかし、県内市町村で事例がないこと及び住民の混乱を招くと

の理由により放送しないとの答弁だった。一転して防災行政無線を使うことに非常に矛盾を感じる。整合性について伺う。

答 県内で凶悪犯罪が起こり、警察の方針が変わりました。市と地元を交えて協定締結し、対応することになりました。

問 ひとり親世帯及び子育て世帯の孤立防止策を

答 市内のひとり親家庭の数及び母子世帯の平均年収は、26年度は、651世帯です。23年の全国調査によると、母子世帯の平均年収は223万円、うち平均年間就労収入は181万円です。

問 子どもの総体的な貧困率は過去最高の16.3%となり、ひとり親の貧困率は、54.6%と非

常に高い。そのような背景から北九州市では経済的な理由で食事を十分にとれない。また、親が忙しく1人で食事をしているひとり親家庭の児童や生徒に食事提供や学習支援を行う「こども食堂」を設けると発表した。市が自ら行うのか、若しくは、民間を補助する等方法は様々ある。

問 現在、当市では、生活困窮者自立支援事業の学習教室を実施している。

答 食事も提供する取組みについて見解を伺う。

答 また、民間の運営団体を支援する予算を盛り込む自治体があるが、見解を。

新庁舎 ユニバーサルデザインではない

北村 文子

複合式

問 新庁舎にユニバーサルデザインという思想がない。市長の考えを伺いたい。

答 ユニバーサルデザインは年齢、性別、障害にかかわらず、全ての人が初めから利用しやすいように計画、実施をしていくことと考えます。新庁舎は、誰もが安全で快適に、わかりやすく利用しやすいようデザインやカラーを取り入れた計画です。

問 ことしの2月、千葉で女性3人の転落事故があった。また、指を切断した、ベビーカーが回転したなど、エスカレーター事故はとも多い。高齢者は一歩踏み出すのが大変だ。1階で全ての用事が済ませられるのがユニバーサルだ。2階はエレベーター出口からコンシエルジュ（案内所）まで何メートルか。

答 図面は見ていませんが、当然見えるところに立つてご案内するのが普通です。

問 設計図から計算すると40mだ。杖をついて歩いたらすごい距離だ。これがユニバーサルか。1、2階で案内に4人配置するのか。

答 市長はもう説明会もやらないと言ったが、小田原市、木更津市、吉川市など設計を市民と話し合っている。今の段階で、市民の声を反映してほしい。

問 今となつては、早期建設に取り組んでいきたいと思えます。

答 残土を置いた上日出谷調整池、江川氾濫の反省を

問 上日出谷2号調整池は平成18年から工事を中断しているが残土置き場に許可をし、

江川氾濫に拍車をかけている。市にモラルがない。調節池ができたから江川の氾濫が起きなかったという因果関係は断定できません。

問 江川の氾濫を食い止めるのであれば努力をしてきたかということだ。一方で区画整理事業がどんどん進み、氾濫を防ぐ調節池が造られなかったのは問題だ。事故直後の7月21日にも新たな盛り土の許可もしている。反省をすべきだ。

答 置き場の利用は行わない予定です。16年から3カ年工事を進め、その後ストップしていますが、今後28年設計をし、29年、30年と工事を実施したいと考えます。

問 上日出谷2号調整池

調節池は平成18年から工事を中断しているが残土置き場に許可をし、

江川氾濫に拍車をかけている。市にモラルがない。調節池ができたから江川の氾濫が起きなかったという因果関係は断定できません。

問 上日出谷2号調整池

調節池は平成18年から工事を中断しているが残土置き場に許可をし、

江川氾濫に拍車をかけている。市にモラルがない。調節池ができたから江川の氾濫が起きなかったという因果関係は断定できません。

問 上日出谷2号調整池

調節池は平成18年から工事を中断しているが残土置き場に許可をし、



ようやく残土の撤去がされる
上日出谷2号調整池

第7回議会報告会を開催しました

桶川市議会では、市民の皆様議会に決定した内容や経過などを説明し、議会活動についての状況を知っていただくために、議会報告会を開催しています。「第7回議会報告会」は、平成28年2月13日（土）に市役所分庁舎で開催をし、31人の方にご参加いただきました。

なお、報告会では、全ての内容についてご説明できませんが、詳細については、市議会ホームページでご覧いただくことができます。

桶川市議会ホームページアドレス

<http://www.city.okegawa.lg.jp/gikai/index.html>

◆アンケート集計結果

1) 回収:24枚(参加者:31人)

2) 性別・地区別等について

① 性別は (※受付簿から)	② 参加回数は
男 24人	初めて 11人
女 7人	2回以上 13人

③ お住まいの地区は (※受付簿から)

桶川(東)	8人
桶川(西)	16人
加 納	5人
川 田 谷	1人
市 外	1人

3) 年代は

20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
0人	0人	0人	1人	7人	16人

4) 議会報告会に参加した感想をお聞かせください。

① 開催の評価は	
評価する	20人
どちらともいえない	3人
評価できない	1人

② 説明については	
分かりやすかった	6人
どちらともいえない	8人
分かりにくかった	10人

5) その他ご意見がありましたらお聞かせください。

- ❖ 市民こそ主人公である事を忘れないで議員活動をやってください。
- ❖ 新庁舎の建設については当初32億等であったが、現在39億と大幅な高騰であり極力減少させるよう議員の皆様も自分の事の住民投票により賛否を問うてはどうだろう。
- ❖ 報告会でなく「市民と語る会」としてもらいたい。
- ❖ 大変勉強になりました。もっと大勢の人がこの機会を利用されるとよいと思う。
- ❖ 女性・若い人の参加しやすい様に考えてほしい。
- ❖ 議員の名札を前に置いてほしい。名前がわからない。
- ❖ 健康長生きいきいきポイント事業のポイントの有効期限が1年限りというのは不便である。この事業は閉じこもりを防ぐものであり事業参加は続けるから意味があるので「ポイントの繰越し」を再考されたい。

◆ 主な質疑・回答・要望等 (抜粋)

議会報告等への質疑

Q 旧市役所庁舎の解体は、なぜすぐ行わないのか。

A 解体する会社と新築する会社が同じほうが安くできるため、遅れています。

Q 新庁舎39億円の内訳はどうなっている。承認したのか。

A 今後、議会の承認手続きが必要になりますが、その際には詳細な内訳を出させて審議します。

Q 新庁舎建設で、なぜ基金があるのに基金をすべて使わずに起債なのか。

A 備品等に起債は使えないため、条例改正をして備品にも基金が充てられるようにし、本体工事に起債を使います。

Q 市庁舎への関心が高いので(市民への)説明会の開催を議会報告会でも推進室(新庁舎建設推進課)にも言っているが実現しない。

A 議会からも言っておきます。

Q 議会ホームページに12月議会がまだ載っていない。録画配信が北本は4日位で載っている。事務局の活動・報告活動が悪い。議事録も1ヵ月位かかるが、桶川は3ヵ月かかる。議長から指導して欲しい。

A 新庁舎になれば議会中継を行うと私たちも甘えていたかもしれませんが、今後スピーディーに皆様に情報が伝わるよう努力していきたいと思います。(※二重投資を避ける等の理由から、仮設庁舎には録画配信設備を設置していません。また、その後、他市の実態を調査したところ、議事録のホームページへの掲載は近隣市と同様でした。ただ、12月議会は、市議会議員選挙があり議会開催がずれ込んだため、結果として他市と比べて遅くなりました。)

Q 被災地の議会を傍聴したら、平日夜間、場合によっては土、日に議会を開催している。傍聴者も多かった。一般のサラリーマンが見に来られるように検討を。

A 平日の夜間は人件費の問題もありますが、土、日は代休をとるなどの方法も可能と思われますので、実施の可能性の検討をしていきます。

Q 報告が早すぎてわかりづらい。皆さんで分担して話をするのかと思っていた。

A 時間の関係で早口になり、聞きづらかったのかもしれませんが。後は皆さんにわかりやすいように改善していきたいと思います。

Q 説明資料を箇条書きにでもしてほしい。

A 今後そのようにしていきたいと思います。

Q 議会へ提案したものは、市が市民へ提示すべきだ。議会はその議論内容を議会だよりで出したほうがいい。議会だよりの書き方について、わかりやすくしてほしい。

A 編集委員会のメンバーも出席していますので、ご意見について検討していくと思います。

市政全般への意見・要望等

◇ 一般質問についても議会報告会の中で触れて欲しい。

委員会(議員)

提出議案

議会は、次の意見書を可決し、国会および関係機関に提出しました。

無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書

無電柱化の取り組みは、地域の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保等を図る上で必要不可欠なものである。

(略)

特に災害時の電柱の倒壊は救援活動等への大きな支障となることや、通学児童・生徒の交通事故の減少が期待できる。

国会においては、住民の安心・安全の確保や生活の向上、地域経済の健全な発展に貢献する無電柱化の推進計画を策定し、計画的かつ迅速に推進することを盛り込んだ無電柱化の推進に関する法律案を早期に成立されるよう強く要望する。

閉会中の

委員会活動

民生経済常任委員会

2月4日 (仮称)

「道の駅おけがわ」の所管事務調査を行いました。

本計画は川田谷地区区

長会等により農産物直売所の設置要望を受けて発展したもので、設置場所は圏央道や上尾道路が開通し、広域交通網の要衝となる地の利を生かせる農村広場周辺の予定です。

建築物の規模は、2千500㎡〜2千720㎡が想定され、駐車場は小型自動車301台、大型自動車49台、道の駅全体で約3.6ヘクタールを要する算定です。当初、平成30年度開業を目指しましたが、大宮国道事務所等との調整で、多少遅れています。

施設の機能と内容は、アンケート調査等を踏まえ、収益部門を農産物直売所・特産品販売所・飲食施設とし、公益性部分を交流広場、観光農園・体験農園等の機能・施設としています。

定例会のお知らせ

6月定例会は6月3日(金)9時30分開会で、会期日程は以下の予定で調整中です。(※議長の公務や事業等の都合により変更する場合があります。)

【会期日程(案)】

3日	開会日
8日・9日・10日	常任委員会
13日・14日・15日・16日	一般質問
20日	閉会日

第8回議会報告会 開催のお知らせ

開催日時

平成28年5月14日 土曜日
午後2時〜(1時間半程度)

開催場所

加納公民館(坂田982-5)
※子ども公園わんぱく村脇

報告概要

3月定例会の内容について



◆3月議会本会議傍聴者数

月 日	男	女	計
2/23	0	1	1
2/24	1	0	1
3/ 3	1	0	1
3/11	6	2	8
3/14	9	2	11
3/16	8	14	22
3/17	6	8	14
3/18	0	0	0
3/23	1	0	1
3/25	2	1	3
合 計	34	28	62

声の市議会だよりの ご利用を

桶川市議会では、ボランティアの皆さん(紅花の会)のご協力により、「声の市議会だより」を作成しています。

利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

編集後記

3月定例会は改選後初の予算議会でした。予算の中には、新庁舎建設、平成28・29年と2カ年継続事業となり、平成30年完成をめざしています。防災面で、一日も早い新庁舎の完成を望んでいます。他にも大型プロジェクトがあり、前年度比、8.3%の増加となります。市民一人ひとりが暮らしやすい、まちづくりをめざし、市民の皆様のいろいろなご意見を聞き、市政に届けていきます。議会だよりを読んでもいただきます、ご意見をお待ちしています。

議会だより編集委員会

(岡野)

委員長	相馬 正人
委員長	保坂 輝雄
委員	渡邊 光子
委員	岡野 千枝子
委員	星野 充生
委員	新井 孝雄
委員	白田 喜之
委員	仲又 清美